

重症病床確保に向けた臨時緊急要請

(期間：5月5日(水)まで)

224床(確保病床数)までの運用に向け、非運用医療機関に働きかけるが、病床がオーバーフローする可能性があるため、並行して緊急的に下記機関に臨時的な追加要請を行った。(要請済)

1 重症患者受入医療機関(大学)

- ・要請内容 15床以上の運用
※ただし、関連病院での確保可。

追加合計 約 30 床

2 重症患者受入医療機関(その他)

- ・要請内容
3床以上の追加運用(許可病床300床以上の医療機関)
1床以上の追加運用(許可病床300床未満の医療機関)

追加合計 約 40 床

3 中等症患者受入基幹医療機関

- ・要請済み：300床以上公立公的病院(17病院)
400床以上地域医療支援病院(7病院)
- ・要請内容 患者が重症化した場合においても、入院医療を継続(2名程度まで)

※ただし、重症病床運用医療機関において、病床運用率が概ね85%程度となる等、新規受入が困難となる場合に限る。

追加合計 約 30 床(軽症中等症病床の転用)

軽症中等症病床確保に向けた 臨時緊急要請

(期間：5月5日(水)まで)

1,766床(確保病床数)までの運用に向け、非運用医療機関に働きかけるが、病床がオーバーフローする可能性があるため、並行して緊急的に下記機関に臨時的な追加要請を行う。(本日要請予定)

1 軽症中等症受入医療機関

(1) 公立・国立病院(200床以上) ※精神、小児等の専門病院除く

要請内容

- 許可病床400床以上の医療機関
60床以上の運用(重症病床確保の場合48床以上)
- 許可病床300床以上400床未満の医療機関
45床以上の運用(重症病床確保の場合36床以上)
- 許可病床200床以上300床未満の医療機関
20床以上の運用(重症病床確保の場合16床以上)

(2) その他、受入医療機関

要請内容

個室化等のため休止とした病床の運用

追加合計 約350床

※ただし、病床運用率が概ね85%程度となる等、新規受入が極めて困難となる場合

2 二次救急医療機関

要請内容

- ・救急受入患者において陽性が判明した場合、入院加療を継続
- ・救急搬送された陽性患者の受入徹底(受入医療機関)

本要請内容について消防機関との情報共有の徹底

※ただし、病床運用率が概ね80%程度となる等、新規受入が困難となる場合に限る。